

祝 大谷石文化日本遺産認定



5月に「大谷石文化が息づくまち宇都宮」が日本遺産に認定されました。この特集では、大谷石文化のストーリーについて紹介します。

ページ番号 1015963

本文中に記載がないものは、原則として、対象¹といたしても、費用²無料、申込³不要（定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ）。⁴HP⁵ホームページ、⁶✉Eメールアドレス、⁷☒地区市民センター、⁸☒出張所
⁹☎生涯学習センター、¹⁰☎参¹¹うつのみや表参道スタッフ、¹²☎地域コミュニティセンター、¹³☎活¹⁴市民活動センター、¹⁵☎申込時に記載する基本項目は、¹⁶催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。

日本遺産とは

日本遺産は、歴史的経緯や地域の風土に根差し、世代を超えて受け継がれている伝承や風習などを踏まえた魅力的なストーリーを文化庁が認定する制度です。今年度は全国76件の申請のうち、本市のストーリーを含む13件が認定となりました。

大谷石文化ストーリー概要

ストーリーは、採掘場跡の巨大な地下空間の神秘的な魅力を導入に、古代から

今後の取り組み

現代まで掘り出された石を変幻自在に使いこなし、本市の暮らしやまちづくりを生かしてきた大谷石の文化を描いたものになっていきます。大谷の奇岩群や大谷磨崖仏、地下採掘場など、38件の歴史文化資源で構成しています。



2



3



4

大谷石文化のストーリーを構成する主な文化財群。1カトリック松が峰教会 2カネイリヤマ採石場跡（大谷資料館） 3大谷観音（大谷磨崖仏） 4大谷寺洞穴遺跡 5大谷の奇岩群（御止山）。



5

ストーリー

地下迷宮の秘密を探る旅

大谷石文化が息づくまち宇都宮 ※

冷気が張りつめるこの空間は一体、どこまで続き、降りていくのだろう。壁がせり立つ巨大な空間には、柱が整然と並び、灯された明かりと柱の影が幾重にも続く。柱と柱の間を曲がると、同じ光景がまた目前に広がり、しだいに方向感覚が失われていく。江戸時代に始まった大谷石採掘は、最盛期に年間89万トンを出荷する日本屈指の採石産業として発展し、地下に巨大な迷宮を産み出していった。大谷石の産地・宇都宮では、石を「ほる」文化、掘り出された石を変幻自在に使いこなす文化が連綿と受け継がれ、この地を訪れる人々を魅了する。

※ストーリーの詳細について、詳しくは市☎をご覧ください。その他、日本遺産について詳しくは、日本遺産ポータルサイト☎<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>をご覧ください。

◎この特集についての問い合わせは、文化課☎(632)2766へ。